

中小企業高度化事業 診断・助言制度

リニューアル事業（組合員貸付）を例に
社長の振り返りを通じてご紹介します



エルエー工業株式会社 代表取締役 路場厚（語り） 総務企画部 尾々谷 営業部 邪馬本 製造部 住須
花咲未来工業協同組合 事務局
花咲県 商工労働部経営支援課 花咲県産業振興財団 花咲県中小企業団体中央会
中小企業基盤整備機構 高度化事業部 高度化事業推進課 同 経営診断統括室 中小企業アドバイザー

本社工場建替えプロジェクトを遂行せよ！

プロジェクト発足

エルエー工業株式会社 代表取締役の路場厚です。
本社工場の建替えの際の「診断・助言」について、振り返りたいと思います。

私は3年前に急逝した父から会社を引き継ぎました。
さいわい大きな借金もなく経営は安定していましたが、
老朽化した本社工場の建替えが課題でした。

本社工場のある 花咲未来工業団地は、父の代に市内の
製造業が参加して設立した花咲未来工業協同組合が、
40年前に整備したものです。

社内に部門横断の「本社工場建替えプロジェクトチーム」
を発足させました。

組合に相談したところ、団地や組合員の社屋は「高度化
資金」を借りて整備したといいます。
また、高度化資金は組合員の社屋建替えにも使えるとい
います。

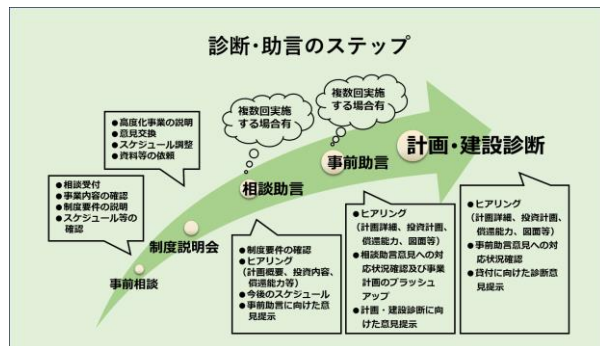
高度化資金は「県と中小機構のお金を借りる」というこ
とは分かりました。

しかし、同時に行われる「診断・助言」というのがよく
分かりませんでした。

組合は県に相談して、制度説明会の段取りをしてくれま
した。

制度説明会

制度説明会には県のほか、中央会と中小機構の職員が来
ていました。



県と中小機構は当社の建替えプロジェクトのことを「リ
ニューアル事業」とか「組合員貸し」と呼んでいました。

診断・助言は、当社の経営や建替え計画について診断を
行い、必要な助言意見を提示するというものでした。

事業に着手するまでに、原則として「相談助言」からは
じめ、次に「事前助言」を実施し、そして「計画・建設
診断」を実施するといいます。



制度説明会のあと...

（尾々谷）
制度要件は満たしていますから、高度化資金は使えそうですね。
低利で長期かつ固定金利の高度化資金は魅力的です。

（住須）
設計事務所と基本計画レベルの図面作成と、概算事業費を打ち合わせている段階です。
建築計画だけでも大変なところに、指定様式の事業実施計画書の作成も加わりますね。



（尾々谷）
事業実施計画書はエクセル形式ですが、結構な枚数があります。
売上計画や利益計画、高度化資金の返済計画を書き込むようになっています。

（邪馬本）
計画書の作成に、必要があればアドバイザーを派遣する制度があると言っていました。
診断助言を受け、助言意見に対応しないと、高度化資金を貸してもらえないとも。

（尾々谷）
貸付は県議会や中小機構のスケジュールに合わせる必要があると言っています。
当社も1年くらい後の着工想定ですから、すり合わせは出来そうです。

（邪馬本）
着工許可の前に購入した設備は、貸付の対象にならなくなるので注意が必要ですね。
ほかにも自社製品や資材の使用には制約があると言っていました。

診断助言がどの程度の負担なのか分かりませんでした
が、高度化資金の利用を申し込むことにしました。

相談助言

申込みは組合の理事会で承認され、組合から県へ連絡されました。
県からの協力依頼に基づいて、中小機構もこの診断助言に参加するといいます。

県は相談助言に向けて、組合と日時や会場、参加者などの調整を進めました。
当社は事業実施計画書の作成などに追われました。
資料提出後、県から当社や組合に内容確認があり、必要な資料追加や修正の指示もありました。

相談助言は2日間にわたって行われました。
初日午前、現在の本社工場の視察が行われました。
製造設備及び製造工程と、周辺環境などの確認が行われました。
午後に組合会館の会議室に集まり、事前提出してあった資料に基づいて県と中小機構が、当社と組合に対しヒアリングを行いました。

当日の参加者は以下のとおりです。
花咲県商工労働部・花咲県産業振興財団・
花咲県中小企業団体中央会
中小機構高度化事業部・中小企業アドバイザー
花咲未来工業協同組合
エルエー工業株式会社・花咲建築設計事務所



ヒアリング後、中小機構の職員とアドバイザーが助言意見の中間報告書の作成に取り掛かりました。
中間報告とは「仮の報告」のことでした。

翌朝は、はじめに県、財団、中央会及び中小機構・アドバイザーが、中間報告を整える打合せをしました。
そのあと当社と組合が会議室に呼び込まれ、助言意見の中間報告を受けました。

内容はほぼ前日のヒアリングで指摘されたものでした。
例えば、販売予測の根拠資料の用意、資金繰り表の錯誤修正などでした。
また、今後の事前助言に向けて、工事スケジュールの作成なども含まれていました。

後日、県から組合経由で当社へ、文書をもって助言意見が伝えられました。
中間報告とあまり変わらない内容で、ほっとしたことを覚えています。

事業実施の明確な意思、基本的な法令等への適合、事業規模の妥当性等が確認されたので、助言意見への対応により、事前助言に進めるとのことでした。

相談助言の助言意見を受け取ったあと...

（尾々谷）

ヒアリングは事業概要を把握する感じでしたが、結構厳しい指摘もありましたね。
助言意見にあった資料をそろえますが、準備に時間のかかるものもあります。

（住須）

建築も基本設計レベルを求められていますので時間がかかります。
取引先別と製品別の売上高や利益率の推移など、データ整理を始めなければなりません。

時間がかかりましたが、当社から組合経由で県へ、助言意見に対応した旨の対応表と、意見を反映した事業実施計画書や建築基本設計、建築スケジュールや補足資料等を提出しました。
県からは、当社や組合に内容確認と、修正や追加資料の指示がありました。

事前助言

そして、相談助言と概ね同じ手続きで、事前助言の準備が進みました。
事前助言は、相談助言と同じく2日間にわたって行われました。



事前提出してあった資料に基づいて、助言意見への対応状況の確認からはじめ、詳細なヒアリングが行われました。

初日のヒアリング終了後の流れは相談助言と同じで、中小機構とアドバイザーが助言意見の中間報告案の作成を行いました。

翌日も同じで、助言意見の中間報告の整理のあと、当社と組合が呼び込まれ、助言意見の中間報告を受けました。

後日の県からの文書通知も同様でした。
償還計画の妥当性や、建築設計・設備設計の妥当性が確認されたので、助言意見への対応により、計画・建設診断に進めるとのことでした。

事前助言の助言意見を受け取ったあと...



（住須）

既に対応を始めていますが、今度も厳しい意見がありましたね。
製造設備に張り付く人員計画など曖昧なままでした。

（尾々谷）

設備投資額は固まりつつありますが、高度化資金の償還余力など詳細な確認を求められました。
事業実施計画書の修正や補足資料を作成を進めます。

（邪馬本）

私は診断・助言制度の役割が分かってきた気がします。
資金返済の確実性だけではなく、投資規模や設計の精度を高めてくれています。

当社に計画的な経営を促してくれていると思います。
事業実施計画書は、当社の経営計画づくりに役立てる考えです。

後日、当社から組合経由で県へ、助言意見に対応した旨の対応表と意見を反映した事業実施計画書や建築基本設計、見直した建築スケジュールや補足資料等を提出しました。

県からは、当社や組合に内容確認と、修正や追加資料の請求がありました。

計画・建設診断

事前助言と概ね同じ手続きで、計画・建設診断の準備が進みました。
計画・建設診断は事前助言と同じく2日間にわたって行われました。

事前提出してあった資料に基づいて、助言意見への対応状況の確認からはじめ、詳細なヒアリングが行われました。

初日のヒアリング終了後の流れは事前助言と同じで、翌日、当社と組合が呼び込まれ、診断意見の中間報告を受けました。

後日の県からの文書通知も同様でした。
事業実施計画書や設備投資計画、運営体制等が概ね整ったので、診断意見への対応により、貸付審査に進めるとのことでした。

計画・建設診断の診断意見を受け取ったあと...

（住須）

今度の意見はこまごましたものではありますが、すべて対応できる内容です。
建築や設備関係の役所への届出リストもすぐに用意できます。

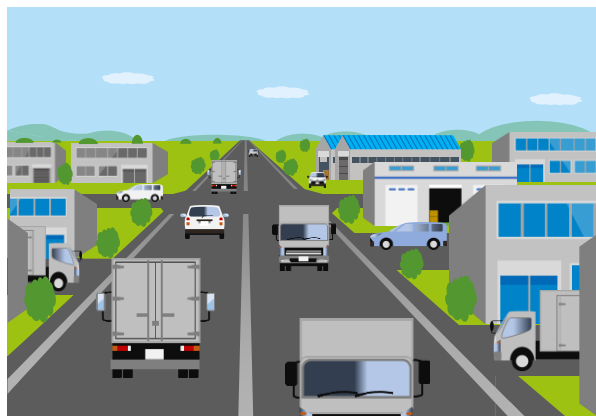
（尾々谷）

資料の修正や補足資料の用意も最終段階です。抜け漏れがないか、相互の確認をお願いします。
整い次第、計画・建設診断の診断意見に対応した旨の対応表を提出します。

当社から組合経由で県へ、診断意見に対応した旨の対応表と意見を反映した事業実施計画書や建築基本設計、最終的な建築スケジュールや補足資料等を提出しました。
そして、県から組合経由で、本件の着工を許可した旨の連絡がありました。

その後、建築の実施設計や新規購入設備の発注もスムーズに進み、当社の本社建替えプロジェクトは大きく前進しました。

（おわり）



実在の人物・団体・事業とは一切関係ありません。